

# 衆議院決算行政監視委員会ニュース

平成 20.6.6 第 169 回国会第 6 号

6 月 6 日、第 6 回の委員会が開かれました。

- 平成 18 年度一般会計歳入歳出決算  
平成 18 年度特別会計歳入歳出決算  
平成 18 年度国税収納金整理資金受払計算書  
平成 18 年度政府関係機関決算書  
平成 18 年度国有財産増減及び現在額総計算書  
平成 18 年度国有財産無償貸付状況総計算書
- ・ 締めくり審査を行い、福田内閣総理大臣、額賀財務大臣、町村国務大臣（内閣官房長官）、増田国務大臣（郵政民営化担当大臣）、平井国土交通副大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。  
（参考人）日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長 西川 善文君
  - ・ 委員長から、 に関する議決案が提出されました。
  - ・ に対し、前田雄吉君（民主）が討論を行いました。
  - ・ について採決を行った結果、賛成多数をもって議決案のとおり議決すべきものと決しました。  
（賛成 - 自民、公明、鈴木宗男君、玉沢徳一郎君 反対 - 民主）
  - ・ 及び について採決を行った結果、賛成多数をもって是認すべきものと決しました。  
（賛成 - 自民、公明、鈴木宗男君、玉沢徳一郎君 反対 - 民主）
  - ・ 議決案の指摘事項に対し、大田国務大臣（経済財政政策担当大臣）、高村外務大臣、舛添厚生労働大臣、冬柴国土交通大臣、今村農林水産副大臣、鴨下環境大臣、渡辺国務大臣（公務員制度改革担当大臣）、町村国務大臣（内閣官房長官）、石破防衛大臣及び増田総務大臣から発言がありました。

（締めくり審査）

（質疑者及び主な質疑内容）

## 福 井 照君（自民）

- ・ 地球温暖化に対する基本姿勢について、北海道洞爺湖サミットに向けた内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・ 郵政民営化の見直し時期を前に、郵政事業の改革について郵政民営化担当国務大臣の所見を伺う。また、地方の現場及び利用者の声にどう応えるかについて西川日本郵政取締役兼代表執行役社長の所見を伺いたい。
- ・ 道路事業への信頼回復のためには、無駄の排除と関係公益法人の見直しが必要であるが、進捗状況はどのようになっているか。

## 上 田 勇君（公明）

- ・ 財務省職員が公費で利用したタクシーの運転手から金券を受け取るなどしていた事態について、政府はどう対処するつもりか。
- ・ 財政健全化達成についての内閣総理大臣と財務大臣の決意を伺いたい。また、道路については事業の必要性を従来以上に厳正に審査し、真に必要な事業計画を策定して

いく必要があると考えるが、総理の所見を伺いたい。

- ・ 長寿（後期高齢者）医療制度については、低所得者の負担に配慮し、今月 3 日に合意された与党の保険料軽減策の内容を早急を実施すべきと考えるが、総理の決意を伺いたい。

## 横 光 克彦君（民主）

- ・ 原爆症認定訴訟で国が敗訴した仙台高裁と大阪高裁の判決に対する上告の断念について内閣総理大臣に言明いただきたい。また、全国の原爆症認定訴訟の原告全員を認定し救済すべきではないか。
- ・ ダブリン会議でクラスター爆弾を事実上全面禁止する条約案が合意されたが、自衛隊の保有するものを全面廃棄するとともに、米国に対しても使用禁止と同条約への参加を働きかけることについて、総理の所見を問う。
- ・ 「劣化ウランを含む装備及び弾薬の使用の影響」に関する昨年末の国連総会決議に従って日本政府が提出した見解について、劣化ウラン兵器の使用禁止を主張するようなものとすべきではなかったのか。

**長 妻 昭君（民主）**

- ・各省庁の職員が公費によるタクシー利用の際に金品等を運転手から授受していた問題について、各省庁の調査結果と内閣総理大臣の感想を伺いたい。
- ・いわゆる「消えた年金」問題について、全ての紙台帳記録とコンピューター記録との照合を社会保険庁が廃止される平成 22 年 1 月までに完了すべきではないか。また、

統合済のコンピューター記録についても更にサンプル調査を行うべきではないか。

- ・公務員の天下り先法人に対する国の巨額な支出について総理の所見を伺う。また、退職公務員の二回目以降の再就職（いわゆる「わたり」）の各省庁によるあっせんを直ちに廃止することについて総理の所見を伺いたい。